

➤ 各調査結果の課題を整理すると

A 前期計画の進捗確認

- ・「公共交通の利用促進策」、「事業者と連携した生活環境保全対策の推進」など、取組を実施しながらも目標値まで届いていないものについては、更なる取組の強化や見直しが必要
- ・「新たな地産地消エネルギー施策の展開」、「低炭素型地域産業の振興」、「事業系ごみの資源化の推進」、「生物多様性の保全対策の推進」などについては、現時点で取組が不足している状況が見られることや、事業者や学校関連機関などと連携が十分に行われているとは言えないことから、対応策の検討も含め、取組の見直しが必要
- ・順調に進捗している人づくり分野などについては、環境学習に関する取組を強化するとともに、学んだことを地域で生かすことのできる仕組みが必要

C 宇都宮市の地域特性や現状

- ・世帯数の増加や高齢化に伴う、家庭部門の環境負荷の増大を想定した対策の検討が必要
- ・DIDの人口密度が今後さらに希薄化することが予想されるため対策の検討が必要
- ・空き家の増加に伴い、景観や安全等への影響が予想されるため空き家対策と連携した取組が求められる。
- ・事業系ごみ排出量が増加傾向にあり、事業者と連携した排出抑制、分別等の取組の強化が必要
- ・増える耕作放棄地の適正管理など農地の機能保持が環境保全の観点から重要
- ・温暖化の影響による気温上昇により生じる災害等への対応が必要
- ・自然災害への対応や都市の緑化・緑地の保全に関する高いニーズに対応するため、緑化の保全・創出策を推進していくことが必要
- ・多様な動植物の生息・生育環境を維持するために分野が連携した取組の検討が重要
- ・地域のポテンシャル、特性に合わせた、再生可能エネルギーの導入促進策が重要
- ・市域全体の二酸化炭素排出量が増加傾向あるため、市民・事業者と連携した対応策や分野横断的な連携のもと対策に取り組むことが重要
- ・自動車依存による自動車由来の環境負荷増大に対応すべく、分野横断的に対応する施策の検討が必要
- ・自転車によるまちづくりなど、自転車を活用した自動車依存社会からの転換策、環境負荷低減策の検討が重要。また、本市の観光資源として連携するなどして、双方の相乗効果を高めた環境施策の充実が重要

B 環境行政に関連する国内等の動向

- ・安全の確保(環境リスクの低減)を前提として、低炭素・循環・自然共生の各分野が統合的に達成されている社会の構築が重要
- ・自然環境や人、生活、事業活動の特色に応じ、22世紀に向けた持続可能な循環共生型の社会を目指す必要性が示されている。
- ・環境課題を解決していくためには、経済や社会などの他、分野横断的に検討・解決していくことが極めて重要
- ・次世代自動車や蓄電池などの新たな環境技術を取り入れるとともに、スマートコミュニティ・スマートシティの考え方を取り入れたまち・社会全体の構築が必要
- ・本市では、将来の都市空間の姿としてネットワーク型コンパクトシティを掲げており、環境面においてもネットワーク型コンパクトシティを踏まえて検討する必要がある。

D 市民・事業者アンケート調査結果

【市民アンケート】

- ・省エネルギーなどのエネルギー問題への関心、気候変動による異常気象等への対応といった安全への関心、空間の快適性を求める都市の緑化・緑地の保全への関心に対しては、ニーズを取り入れた新たな取組の検討が必要
- ・ごみの分別や省エネ行動などの身近な環境活動が根付いてきているものについては、更なるレベルアップに向けた新たな取組の検討が必要
- ・働く世代における公共交通等の利用が少ない点や青年層の参加割合が非常に低い傾向だった、環境保全活動、環境学習においては、的を絞った効果的な対策を講ずる必要

【事業者アンケート】

- ・省エネルギーなどのエネルギー問題への関心、気候変動による異常気象等への対応といった安全への関心、空間の快適性を求める都市の緑化・緑地の保全への関心に対しては、ニーズを取り入れた新たな取組の検討が必要
- ・大規模・中小企業ともに意識が高い傾向にあった、「事業者自らが省エネや廃棄物の削減」や「リサイクルに関し積極的に取り組むべき」といった点は、効果が最大限見込める分野であり、環境負荷低減ポテンシャルとして、より一層の支援策の検討が必要

【共通】

- ・市民・中小規模事業者ともに、市がめざすべき将来の環境都市の姿として、「少ないエネルギー消費でエコで快適な日常生活と、環境と両立した経済活動ができるまち」及び「大気や水の汚染など公害のない安全で安心な生活環境が確保されているまち」という回答割合が高く、都市像を検討するうえでも重要な要素である。

A 前期計画の進捗確認

- ・2Rが進む社会システム
- ・モビリティ政策の強化
- ・市民・事業者・行政の連携
- ・環境学習の強化
- ・エネルギーの地産地消

B 環境行政に関連する国内等の動向

- ・安全、安心な生活環境
- ・スマートコミュニティ・シティ
- ・分野横断的な連携
- ・コンパクトシティ
- ・技術革新への対応
- ・持続可能な循環共生型社会
- ・ICTの活用
- ・都市基盤に「安全」
- ・エネルギーの高度利用

C 宇都宮市の地域特性や現状

- ・生態系の保全
- ・地域資源の活用
- ・人口減少への対応
- ・高齢化への対応
- ・低炭素化の強化
- ・資源循環
- ・まちづくりとの連携
- ・水とみどり
- ・都市部と農村の調和
- ・バイオマス利用
- ・もったいない

D 市民・事業者アンケート調査結果

- ・自然災害への対応
- ・省エネルギーの推進
- ・自立分散型エネルギー
- ・ライフスタイルの転換
- ・快適な都市空間と緑
- ・大気環境の保全
- ・緑地・森林保全
- ・経済と環境の両立
- ・環境面での人づくり

各調査から浮かび上がったキーワード

環境行政の視点からくらしや社会システムに求められているニーズ

エコで豊かなくらしの創出

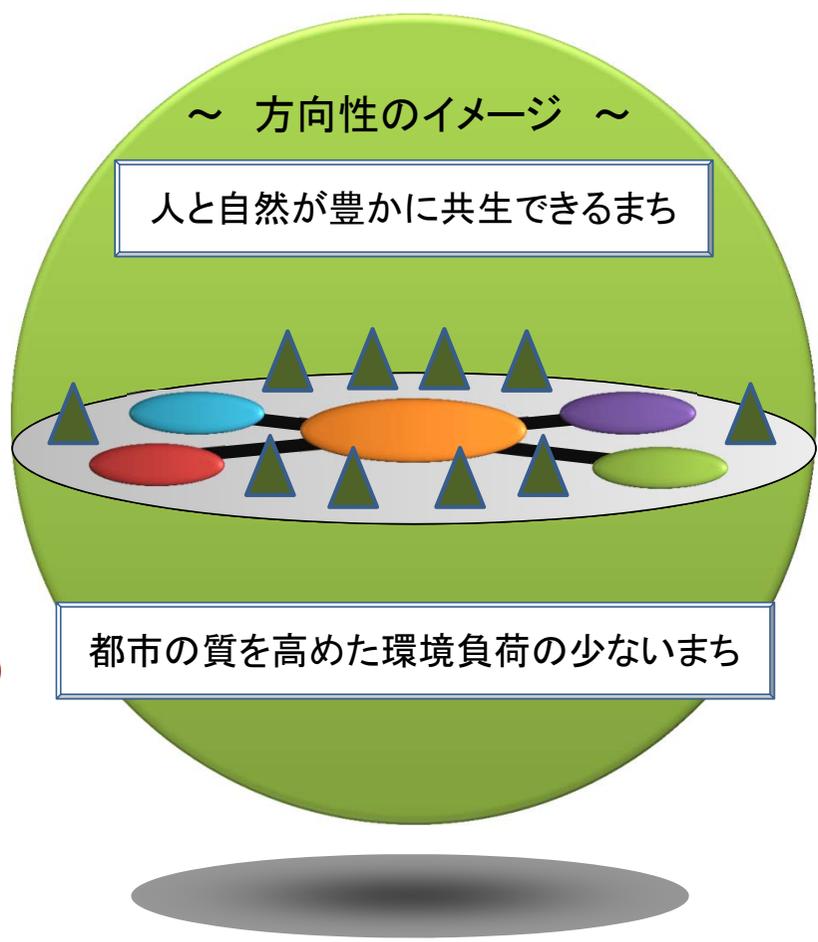
- 環境負荷の低減を図りつつ、生活水準を維持・向上することができるくらし
  - 【例】・省エネルギーの推進・ライフスタイルの転換
    - ・もったいない・緑地・森林保全・水とみどり
    - ・大気環境の保全・都市と農村の調和 など
- 地域に存在する資源の発掘や活用よる地域活性化
  - 【例】・地域資源の活用・バイオマス利用
    - ・エネルギーの地産地消・環境面での人づくり
    - ・生態系の保全・環境学習の強化 など
- ICTなどの環境技術を活用した、エコで快適なくらし
  - 【例】・ICTの活用・ネットワークの強化
    - ・人口減少への対応・技術革新への対応
    - ・高齢化への対応・スマートコミュニティ など

安全で安心したくらしの創出

- 自立分散エネルギーなど、外的要因に影響されないエネルギーの確保
  - 【例】・自立分散型エネルギー・スマートコミュニティ
    - ・スマートシティ・エネルギーの高度利用 など
- 温暖化対策を促進するくらしや温暖化の影響による災害などにも対応したくらし
  - 【例】・自然災害への対応・生態系の保全
    - ・安全、安心な生活環境・ライフスタイルの転換
    - ・低炭素化の強化・環境学習の強化 など
- 過度に自動車に依存せず、誰もが自由に移動できる交通体系の構築
  - 【例】・モビリティ政策の強化・まちづくりとの連携
    - ・高齢化への対応・低炭素化への強化 など

持続可能な社会システムの創出

- くらしや経済活動のスマート化による環境負荷の低減
  - 【例】・コンパクトシティ・スマートシティ
    - ・スマートコミュニティ・技術革新への対応 など
- 2R(リデュース, リユース)などの取組を促進した、資源を高度利用できる社会経済システムの構築
  - 【例】・2Rが進む社会システム・資源循環
    - ・市民・事業者・行政連携 など
- 地域社会や経済、まちづくりなどの分野横断的な連携
  - 【例】・分野横断的な連携・快適な都市空間と緑
    - ・経済と環境の両立・持続可能な循環共生型社会 など



- ～ 目指す環境都市像の方向性 ～
- 自然環境、人間生活が互いに尊重し、両立することで、豊かな社会システムを構築する。
  - 環境負荷を抑えながら継続して成長する、質(環境・生活・文化・産業・都市機能など)の高い都市を構築する。

1. 拠点間の連携・補完により持続的に発展する都市 (都市拠点)(地域拠点)

2. 本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市

3. 交通ネットワークが整備された利便性の高い都市

4. 自然環境や農地と市街地が有機的に連携した都市

5. 効率的で健全な都市運営を実現する都市

ネットワーク型コンパクトシティ形成に向けた方針

本市が目指す都市空間の姿(ネットワーク型コンパクトシティ)